

みかしば

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

令和5年4月10日

出会いの春、希望あふれる春

校長 安達 隆元

校庭の花壇の花々が春の訪れを告げる中、本日、4月10日（月）、35名の新1年生を迎え、全校児童205名で令和5年度の御狩場小学校がスタートしました。保護者の皆様には、お子様のご入学・ご進級を心からお祝い申し上げます

私は今年度、御狩場小学校の校長として着任いたしました 安達 隆元（あだち たかもと）です。前任の野村佐智夫校長先生の後任として、これまで築かれてきた教育を継承しつつ、更に発展させる気持ちをもって学校経営に取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私が御狩場小学校の子ども達の成長を願い、目指す学校像は以下のものです。

『やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長できる御狩場小！』
～ 自己肯定感が高まる学校 ～

相手を思いやる「やさしい言葉」があふれば、きっと安心・安全な学校につながります。そのことは、一生懸命に頑張る、また、苦手なことでも失敗を恐れず全力を出せる雰囲気につながります。

学校・学級が失敗できると感じられる場所であり、自分の失敗も友人の失敗も肯定的にとらえることができ、継続して挑戦し続けようとする「前向きな気持ち」が積み重なれば、自己肯定感が高まります。一人ひとりが進んで“考動”できるようになります。

様々な場面で、互いの意見や考えを聴き合いながら学びを深め、自分の学びのために友人と関わりを持つようになると、「互いに成長できる」学校になります。

これらのことは、将来、社会人として自らの人生を切り開き、豊かな人生を過ごす力にきっとつながることと思います。

4月は、どのお子様も、不安を抱えつつも、一方で大きな意欲を持ち、大きな夢や目標を胸一杯に抱きながら迎えていることと思います。我々教職員は、その想いに寄り添いながら、全力で指導・支援にあたらせていただきます。その際には、これまでと同様に、保護者の皆様と地域の皆様のご理解、ご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。